

付 録

付録1 単純集計集

回収方法		
	度数	比率
聞き取り	195	67.0%
郵送	93	32.0%
留置	3	1.0%
合計	291	100.0%

性別		
	度数	比率
男性	112	38.5%
女性	179	61.5%
その他	0	0.0%
合計	291	100.0%

年齢層 (10 歳刻み)		
	度数	比率
10 歳代	1	0.3%
20 歳代	5	1.7%
30 歳代	5	1.7%
40 歳代	13	4.5%
50 歳代	27	9.3%
60 歳代	66	22.8%
70 歳代	99	34.3%
80 歳代	69	23.9%
90 歳代	4	1.4%
合計	289	100.0%

公営住宅団地

	度数	比率
吉里吉里	19	6.5%
柵内	5	1.7%
屋敷前アパート	42	14.4%
大ヶ口1丁目	24	8.2%
源水	8	2.7%
大ヶ口2丁目	11	3.8%
柵内第2	5	1.7%
末広町アパート	23	7.9%
浪板	12	4.1%
寺野・臼澤第1	8	2.7%
寺野・臼澤第2	0	0.0%
本町	8	2.7%
御社地アパート	8	2.7%
上町	15	5.2%
上町第2	14	4.8%
大町	17	5.8%
大町第2	4	1.4%
吉里吉里第2	4	1.4%
赤浜三日月	5	1.7%
赤浜海洋研裏	10	3.4%
安渡第2	6	2.1%
安渡C 県営アパート	4	1.4%
三枚堂第1	7	2.4%
三枚堂第2	5	1.7%
三枚堂第3	12	4.1%
三枚堂第4	9	3.1%
寺野・臼澤第3	4	1.4%
町方1 県営大町アパート	2	0.7%
町方2 県営	0	0.0%
合計	291	100.0%

震災前居住地		
	度数	比率
新町	12	4.2%
大町	13	4.6%
本町	7	2.5%
末広町	25	8.8%
須賀町	29	10.2%
栄町	16	5.7%
上町	13	4.6%
花輪田・桜木町	5	1.8%
小鎗（寺野・白澤含む）	12	4.2%
大ヶ口	14	4.9%
安渡・港町・新港町	59	20.8%
赤浜	20	7.1%
吉里吉里	24	8.5%
浪板・吉里々々	6	2.1%
大槌（源水・沢山含む）	20	7.1%
町外	8	2.8%
合計	283	100.0%

問3 同居人数（総数）		
	度数	比率
1人	125	43.3%
2人	129	44.6%
3人	26	9.0%
4人	7	2.4%
5人	1	0.3%
6人	1	0.3%
合計	289	100.0%

問3 同居人数（男性）		
	度数	比率
0人	97	33.6%
1人	173	59.9%
2人	18	6.2%
3人	1	0.3%
合計	289	100.0%

問3 同居人数（女性）		
	度数	比率
0人	44	15.3%
1人	211	73.3%
2人	27	9.4%
3人	6	2.1%
4人	1	0.3%
合計	288	100.0%

問4 同居している方（複数回答可）		
	度数	比率
自分	291	100.0%
夫妻	112	38.5%
父母	24	8.2%
祖父母	3	1.0%
子	41	14.1%
孫	1	0.3%
兄弟姉妹	8	2.7%
子の配偶者	1	0.3%
めい・おい	1	0.3%
その他	0	0.0%
合計	482	165.6%

問4 同居人数（子 18歳以上）

	度数	比率
0人	250	87.7%
1人	31	10.9%
2人	4	1.4%
合計	285	100.0%

問4 同居人数（子 18歳未満）

	度数	比率
0人	280	98.2%
1人	2	0.7%
2人	3	1.1%
合計	285	100.0%

問4 同居人数（孫 18歳以上）

	度数	比率
0人	285	100.0%
合計	285	100.0%

問4 同居人数（孫 18歳未満）

	度数	比率
0人	284	99.6%
2人	1	0.4%
合計	285	100.0%

問4 同居人数（兄弟・姉妹）

	度数	比率
0人	278	97.5%
1人	6	2.1%
3人	1	0.4%
合計	285	100.0%

問4 同居人数（その他）

	度数	比率
0人	285	100.0%
合計	285	100.0%

問5 お暮らしの世帯

	度数	比率
高齢世帯	184	65.2%
子ども世帯	5	1.8%
それ以外の世帯	93	33.0%
合計	282	100.0%

問6 同居の家族の変化（複数回答可）

	度数	比率
変化なし	227	80.8%
転出	15	5.3%
転入	3	1.1%
去	17	6.0%
出生	2	0.7%
施設への入所・入院	17	6.0%
その他	2	0.7%
合計	283	100.7%

問7-1 震災後住んだ場所（種類）（複数回答可）

	度数	比率
避難所	202	70.4%
親戚・知人宅	121	42.2%
行政から紹介された宿泊所等	22	7.7%
応急仮設住宅	217	75.6%
みなし仮設住宅	36	12.5%
その他	39	13.6%
合計	637	222.0%

問 7-1 震災後住んだ親戚・知人宅の場所（複数回答可）

	度数	比率
町内	65	54.6%
町外沿岸（県内）	19	16.0%
町外内陸（県内）	21	17.6%
県外	23	19.3%
合計	128	107.6%

問 7-1 震災後住んだみなし仮設住宅の場所（複数回答可）

	度数	比率
町内	15	44.1%
町外沿岸（県内）	7	20.6%
町外内陸（県内）	12	35.3%
県外	1	2.9%
合計	35	102.9%

問 7-1 震災後住んだ行政から紹介された宿泊所等の場所（複数回答可）

	度数	比率
町内	3	13.6%
町外沿岸（県内）	1	4.5%
町外内陸（県内）	19	86.4%
県外	1	4.5%
合計	24	109.1%

問 7-1 震災後住んだその他の場所（複数回答可）

	度数	比率
町内	16	44.4%
町外沿岸（県内）	10	27.8%
町外内陸（県内）	7	19.4%
県外	3	8.3%
合計	36	100.0%

問 7-1 震災後住んだ応急仮設住宅の場所（複数回答可）

	度数	比率
町内	200	95.2%
町外沿岸（県内）	8	3.8%
町外内陸（県内）	1	0.5%
県外	1	0.5%
合計	210	100.0%

問 7-2 仮設入居年月（みなし仮設含む）

	度数	比率
2011年3月	1	0.6%
2011年4月	2	1.2%
2011年5月	3	1.8%
2011年6月	23	13.5%
2011年7月	53	31.0%
2011年8月	47	27.5%
2011年9月	7	4.1%
2011年10月	5	2.9%
2011年11月	0	0.0%
2011年12月	0	0.0%
2012年1月	2	1.2%
2012年2月	0	0.0%
それ以降	28	16.4%
合計	171	100.0%

問7-2 公営入居年

	度数	比率
2013年	17	8.1%
2014年	17	8.1%
2015年	16	7.7%
2016年	28	13.4%
2017年	28	13.4%
2018年	92	44.0%
2019年	11	5.3%
合計	209	100.0%

問8 公営住宅気になる点（複数回答可）

	度数	比率
a 気になることはない	116	41.1%
b 暑さ・寒さ対策	38	13.5%
c 通風・衛星	14	5.0%
d 騒音	43	15.2%
e 居住空間の使い勝手	27	9.6%
f バリアフリー対応	17	6.0%
g 交通の便	59	20.9%
h 共有空間の使い方	13	4.6%
I 防災面	19	6.7%
j つながりが希薄	42	14.9%
k 親戚・知人と会いにくくなった	25	8.9%
l その他	54	19.1%
合計	467	165.6%

問9 魚介類

	度数	比率
ほとんど毎日	103	36.3%
二日に一回	81	28.5%
一週間に1, 2回	74	26.1%
ほとんど飲食しない	26	9.2%
合計	284	100.0%

問9 肉類

	度数	比率
ほとんど毎日	43	15.2%
二日に一回	93	32.9%
一週間に1, 2回	121	42.8%
ほとんど飲食しない	26	9.2%
合計	283	100.0%

問9 卵

	度数	比率
ほとんど毎日	133	47.0%
二日に一回	69	24.4%
一週間に1, 2回	59	20.8%
ほとんど飲食しない	22	7.8%
合計	283	100.0%

問9 牛乳

	度数	比率
ほとんど毎日	145	51.1%
二日に一回	28	9.9%
一週間に1, 2回	33	11.6%
ほとんど飲食しない	78	27.5%
合計	284	100.0%

問9 大豆・大豆製品

	度数	比率
ほとんど毎日	168	59.2%
二日に一回	47	16.5%
一週間に1, 2回	46	16.2%
ほとんど飲食しない	23	8.1%
合計	284	100.0%

問9 緑黄色野菜

	度数	比率
ほとんど毎日	158	55.6%
二日に一回	8	20.4%
一週間に1, 2	49	17.3%
ほとんど飲食しない	19	6.7%
合計	284	100.0%

問9 油脂類

	度数	比率
ほとんど毎日	52	18.2%
二日に一回	61	21.3%
一週間に1, 2回	102	35.7%
ほとんど飲食しない	71	24.8%
合計	286	100.0%

問9 海藻類

	度数	比率
ほとんど毎日	87	31.0%
二日に一回	61	21.7%
一週間に1, 2回	93	33.1%
ほとんど飲食しない	40	14.2%
合計	281	100.0%

問10 1か月以内に尋ねてきた人(複数回答可)

	度数	比率
a 尋ねてきた人はいない	29	10.1%
b 家族・親族	180	62.7%
c 知人・友人	125	43.6%
d 役所の事務的な訪問	44	15.3%
e 心身面の相談員	14	4.9%
f 生活面の相談員	24	8.4%
g ボランティアの人	34	11.8%
h 震災前の地区の人	27	9.4%
i 避難所で親しくした人	21	7.3%
j 仮設住宅で親しい人	30	10.5%
K その他	57	19.9%
合計	585	203.8%

問9 いも類

	度数	比率
ほとんど毎日	55	19.9%
二日に一回	65	23.6%
一週間に1, 2回	106	38.4%
ほとんど飲食しない	50	18.1%
合計	276	100.0%

問9 果物類

	度数	比率
ほとんど毎日	107	37.9%
二日に一回	53	18.8%
一週間に1, 2回	73	25.9%
ほとんど飲食しない	49	17.4%
合計	282	100.0%

問 11-1 相談相手 (複数回答可)

	度数	比率
家族・親族	170	68.0%
知人・友人	60	24.0%
役所の事務的な訪問	16	6.4%
心身面の相談員	6	2.4%
生活面の相談員	7	2.8%
ボランティアの人	6	2.4%
震災前の地区の人	1	0.4%
避難所で親しくした人	8	3.2%
仮設住宅で親しくした人	2	0.8%
今の団地や長屋で親しい人	17	6.8%
その他	15	6.0%
相談する人がいない	35	14.0%
合計	343	137.2%

問 11-2 連絡の十分度

	度数	比率
十分だと思う	152	55.9%
どちらかといえば十分だと思う	53	19.5%
どちらかといえば不十分だと思う	10	3.7%
不十分だと思う	19	7.0%
相談する相手はいない	38	14.0%
合計	272	100.0%

問 12 人と会って話す

	度数	比率
震災前積極的に人に会って話したいと思っていた⇒震災後もっと積極的に会って話したいと思うようになった	28	12.8%
震災前積極的に人に会って話したいと思っていた⇒震災後変わらない	101	46.3%
震災前積極的に人に会って話したいと思っていた⇒震災後会って話すのをひかえたいと思っていた	39	17.9%
震災前会って話すのをひかえたいと思っていた⇒震災後もっと積極的に会って話したいと思うようになった	7	3.2%
震災前会って話すのをひかえたいと思っていた⇒震災後変わらない	34	15.6%
震災前会って話すのをひかえたいと思っていた⇒震災後会って話すのをひかえたいと思っていた	9	4.1%
合計	218	100.0%

問 13 情報源 (複数回答可)		
	度数	比率
a 一般の新聞	81	28.4%
b テレビ、ラジオ	171	60.0%
c 大槌で発行されている地域新聞		
	130	45.6%
d 広報誌	139	48.8%
e 家族	32	11.2%
f 近所の人	31	10.9%
g 友人、知人	61	21.4%
h その他	30	10.5%
合計	675	236.8%

問 14 用いたい連絡手段 (複数回答可)		
	度数	比率
直接会って話す	154	54.4%
電話	239	84.5%
手紙	16	5.7%
電子メール	23	8.1%
LINE	31	11.0%
SNS	8	2.8%
ネット掲示板	0	0.0%
ブログ	0	0.0%
その他	4	1.4%
合計	475	167.8%

問 15 連絡手段の評価		
	度数	比率
不満がある	18	6.5%
少し不満がある	19	6.8%
あまり不満はない	61	21.9%
不満はない	180	64.7%
合計	278	100.0%

問 16 WHO-5 A 明るく楽しい気分で過ごした		
	度数	比率
いつも	62	22.1%
ほとんどいつも	56	20.0%
半分以上の期間を	65	23.2%
半分以下の期間を	25	8.9%
ほんのたまに	48	17.1%
まったくない	24	8.6%
合計	280	100.0%

問 16 WHO-5 B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした		
	度数	比率
いつも	54	19.5%
ほとんどいつも	69	24.9%
半分以上の期間を	69	24.9%
半分以下の期間を	27	9.7%
ほんのたまに	36	13.0%
まったくない	22	7.9%
合計	277	100.0%

問 16 WHO-5 C 意欲的で、活動的に過ごした		
	度数	比率
いつも	39	14.1%
ほとんどいつも	51	18.5%
半分以上の期間を	64	23.2%
半分以下の期間を	32	11.6%
ほんのたまに	45	16.3%
まったくない	45	16.3%
合計	276	100.0%

問16 WHO-5 D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた

	度数	比率
いつも	70	25.2%
ほとんどいつも	67	24.1%
半分以上の期間を	51	18.3%
半分以下の期間を	25	9.0%
ほんのたまに	32	11.5%
まったくない	33	11.9%
合計	278	100.0%

問16 WHO-5 E 日常生活の中に、興味のあることが沢山あった

	度数	比率
いつも	46	16.7%
ほとんどいつも	48	17.4%
半分以上の期間を	51	18.5%
半分以下の期間を	30	10.9%
ほんのたまに	67	24.3%
まったくない	34	12.3%
合計	276	100.0%

問16 WHO-5 合計点の高低

	度数	比率
高スコア	157	62.1%
低スコア	96	37.9%
合計	253	100.0%

問17 今の気持ち

	度数	比率
被災から時間が経過し、気持ちの面では、平穏になりつつある	75	26.6%
被災から時間が経過し、気持ちの面では、ほとんど変わらない	128	45.4%
被災から時間が経過し、気持ちの面では、かえってきびしくなっている	67	23.8%
その他	12	4.3%
合計	282	100.0%

問18 気持ちの変化理由（複数回答可）

	度数	比率
家族とのつながり	44	22.4%
友人・知人とのつながり	33	16.8%
地域活動への参加状況の変化	18	9.2%
体調・健康面の変化	44	22.4%
住まい・住環境の変化	47	24.0%
仕事・職場環境の変化	20	10.2%
家計・暮らし向きの変化	28	14.3%
趣味・生きがいの変化	17	8.7%
人生観の変化	16	8.2%
その他	25	12.8%
合計	292	149.0%

問19 睡眠で休養が取れているか

	度数	比率
1 十分とれている	123	44.2%
2 まあまあとれている	78	28.1%
3 あまりとれていない	57	20.5%
4 まったくとれていない	20	7.2%
合計	278	100.0%

問20 現在の生活費

	度数	比率
自営業による収入	1	0.4%
給与による収入	47	17.8%
生活保護費	6	2.3%
年金	191	72.3%
失業給付	1	0.4%
預金の切り崩し	6	2.3%
家族による世話・ふよう	7	2.7%
その他	5	1.9%
合計	264	100.0%

問20-1 年金の種類

	度数	比率
国民年金	68	47.6%
厚生年金	57	39.9%
共済年金	1	0.7%
農業者	0	0.0%
漁業者	0	0.0%
遺族	7	4.9%
障害者	10	7.0%
合計	143	100.0%

問21 世帯収入（ひと月の手取り）

	度数	比率
ない	5	2.1%
5万円未満	16	6.7%
5～10万円未満	60	25.2%
10～15万円未満	64	26.9%
15～20万円未満	32	13.4%
20～25万円未満	23	9.7%
25～30万円未満	7	2.9%
30万円以上	14	5.9%
その他	17	7.1%
合計	238	100.0%

問22 被災前の暮らし向き

	度数	比率
被災前きびしかった	80	28.4%
被災前きびしくなかった	193	68.4%
その他	9	3.2%
合計	282	100.0%

問23 被災後の暮らし向き

	度数	比率
震災前きびしい	158	56.8%
震災前きびしくない	97	34.9%
その他	23	8.3%
合計	278	100.0%

問 24-1 現在の仕事の種類

	度数	比率
1 働いていない	192	71.1%
2 公務員	0	0.0%
3 内職	0	0.0%
4 専業主婦	5	1.9%
5 自営業の手伝い	2	0.7%
6 農林漁業	4	1.5%
7 個人経営	6	2.2%
8 雇われて給料を得ている	54	20.0%
9 会社役員	1	0.4%
10 その他	6	2.2%
合計	270	100.0%

問 24-1-1 現在の仕事の種類_働いていない理由

	度数	比率
イ 求職中	2	1.5%
ロ 諸事情により	17	12.7%
ハ 希望する職がない	6	4.5%
ニ 年金暮らしで働くてよい	109	81.3%
合計	134	100.0%

問 24-1-2 現在の仕事の種類_農林漁業

	度数	比率
イ 農業	0	0.0%
ロ 林業	0	0.0%
ハ 養殖漁業	0	0.0%
ニ 漁船漁業	3	2.2%
合計	3	2.2%

問 24-1-3 現在の仕事の種類_被雇用

	度数	比率
イ 正社員	13	32.5%
ロ 臨時・日雇	3	7.5%
ハ パート	16	40.0%
ニ 嘱託社員	4	10.0%
ホ 契約・派遣社員	4	10.0%
合計	40	100.0%

問 24-2 震災前からの仕事の変化

	度数	比率
変化あり	109	45.2%
変化なし	132	54.8%
合計	241	100.0%

問 24-2-1 震災前の仕事の種類

	度数	比率
1 働いていない	3	3.6%
2 公務員	4	4.8%
3 内職	0	0.0%
4 専業主婦	3	3.6%
5 自営業の手伝い	3	3.6%
6 農林漁業	11	13.3%
7 個人経営	11	13.3%
8 雇われて給料を得ている	40	48.2%
9 会社役員	2	2.4%
10 その他	6	7.2%
合計	83	100.0%

問 25 借金・ローンについて

	度数	比率
この問題はない	200	85.5%
解決した	18	7.7%
改善した	4	1.7%
変わらない	5	2.1%
深刻になった	2	0.9%
その他	5	2.1%
合計	234	100.0%

問 26 現在参加している活動（複数回答可）

	度数	比率
a とくにない	107	39.1%
b 友達と会う、連絡を取る	118	43.1%
c サークル活動・勉強会などに参加	27	9.9%
d 団地や周辺町内会でのイベントに参加	78	28.5%
e 町の復興協議会・まちづくり懇談会などに参加	20	7.3%
f その他	22	8.0%
合計	372	135.8%

問 27-1 現在の楽しい・幸せと感じる時（複数回答可）

	度数	比率
家族の団らん	85	29.7%
知人・友人と会っている時	114	39.9%
町内会・公営住宅団地の集まり	29	10.1%
テレビを観たり、ラジオを聞いている時	121	42.3%
インターネットやメールをする時	11	3.8%
趣味に取り組んでいる時	68	23.8%
買い物に出かける時	65	22.7%
飲食をしている時	44	15.4%
働いている時	22	7.7%
休んでいる時	22	7.7%
その他	38	13.3%
特になし	27	9.4%
合計	646	225.9%

問 27-2 震災前の楽しい・幸せと感じていた時
(複数回答可)

	度数	比率
家族の団らん	22	20.4%
知人・友人と会っている時	25	23.1%
町内会・公営住宅団地の集まり	14	13.0%
テレビを観たり、ラジオを聞いている時	11	10.2%
インターネットやメールをする時	3	2.8%
趣味に取り組んでいる時	29	26.9%
買い物に出かけるとき	15	13.9%
飲食をしている時	11	10.2%
働いている時	11	10.2%
休んでいる時	5	4.6%
その他	15	13.9%
特になし	2	1.9%
合計	163	150.9%

問 27-2 楽しい・幸せと感じるときの変化

	度数	比率
変化なし	172	64.9%
変化あり	93	35.1%
合計	265	100.0%

問 28 孤独感

A 仲間付き合いがない

	度数	比率
3 ほとんどない	185	66.3%
2 たまにある	55	19.7%
1 よくある	39	14.0%
合計	279	100.0%

B 仲間外れにされている

	度数	比率
3 ほとんどない	240	87.6%
2 たまにある	21	7.7%
1 よくある	13	4.7%
合計	274	100.0%

C 孤立している

	度数	比率
3 ほとんどない	218	79.0%
2 たまにある	42	15.2%
1 よくある	16	5.8%
合計	276	100.0%

A+B+C 合計値

	度数	比率
3	12	4.3%
4	2	0.7%
5	6	2.2%
6	23	8.3%
7	29	10.5%
8	34	12.3%
9	170	61.6%
合計	276	100.0%

問 29 買い物手段 (複数回答可)		
	度数	比率
自分で買い物しない	14	4.9%
徒歩	45	15.7%
自転車	28	9.8%
バイク	6	2.1%
自分が運転する車	97	33.9%
家族が運転する車	64	22.4%
知人の運転する車	24	8.4%
タクシー	52	18.2%
バス	79	27.6%
移動販売	37	12.9%
宅配サービス	36	12.6%
その他	13	4.5%
合計	495	173.1%

問 30 大槌町の公共交通機関の満足度		
	度数	比率
満足している	53	19.4%
どちらかという満足している	55	20.1%
どちらかという不満である	53	19.4%
不満である	48	17.6%
その他	64	23.4%
合計	273	100.0%

問 31 大槌町の住みやすさ		
	度数	比率
住みやすい	111	42.4%
ある程度住みやすい	102	38.9%
あまり住みやすくない	33	12.6%
住みにくい	16	6.1%
合計	262	100.0%

問 32 住みやすさの理由		
問 32 A 子育て環境が整っている		
	度数	比率
そう思う	20	13.0%
どちらかといえばそう思う	60	39.0%
どちらかといえばそう思わない	39	25.3%
そう思わない	35	22.7%
合計	154	100.0%

問 32 B 介護環境が整っている		
	度数	比率
そう思う	38	21.6%
どちらかといえばそう思う	65	36.9%
どちらかといえばそう思わない	50	28.4%
そう思わない	23	13.1%
合計	176	100.0%

問 32 C 学習環境が整っている		
	度数	比率
そう思う	32	21.2%
どちらかといえばそう思う	59	39.1%
どちらかといえばそう思わない	37	24.5%
そう思わない	23	15.2%
合計	151	100.0%

問 32 D 地域の交流が盛んだ		
	度数	比率
そう思う	47	23.2%
どちらかといえばそう思う	71	35.0%
どちらかといえばそう思わない		
	55	27.1%
そう思わない	30	14.8%
合計	203	100.0%

問 32 E 住み慣れた町だ		
	度数	比率
そう思う	154	61.4%
どちらかといえばそう思う	58	23.1%
どちらかといえばそう思わない		
	22	8.8%
そう思わない	17	6.8%
合計	251	100.0%

問 32 F あまり生活費がかからない		
	度数	比率
そう思う	32	15.8%
どちらかといえばそう思う	49	24.3%
どちらかといえばそう思わない		
	64	31.7%
そう思わない	57	28.2%
合計	202	100.0%

問 33 受けている支援 (複数回答可)		
	度数	比率
子育て支援	1	0.3%
介護支援	42	14.4%
学習支援	2	0.7%
合計	45	15.5%

問 34 今後のお住まいについてどのような見通しをたてているか		
	度数	比率
1 できるだけ公営住宅にいたい	221	79.5%
2 じぶんの家を建てたい	7	2.5%
3 自宅を再建したいが、災害復興公営住宅に いる	19	6.8%
4 民間の借家をかりる	1	0.4%
5 息子などほかの家族と一緒に暮らす	4	1.4%
6 その他	26	9.4%
合計	278	100.0%

問 35 要望したい支援 (複数回答可)		
	度数	比率
生活支援金を増やしてほしい	69	25.8%
医療費・介護にかかわる経費・負担を軽減して ほしい	181	67.8%
就学・育児にかかる費用を援助してほしい	12	4.5%
一家を養える給料がほしい	28	10.5%
安定した仕事がほしい	27	10.1%
週に2, 3日程度働ける仕事を紹介してほしい	20	7.5%
高齢者でも障害があっても働ける仕事を紹介し てほしい	25	9.4%
心穏やかに暮らせる環境づくり	87	32.6%
その他	54	20.2%
合計	503	188.4%

問 36 関わりたいまちづくり（複数回答可）

	度数	比率
地域における交流の活性化	56	23.3%
まつり・伝統行事など地域文化の復興	63	26.3%
自然環境・生物生態系の保全	29	12.1%
犠牲となった方がたの鎮魂・慰霊	77	32.1%
防災の文化を受け継ぐ	56	23.3%
その他	83	34.6%
合計	364	151.7%

問 37 町の復興度

	度数	比率
0～20%未満	11	4.0%
20～40%未満	50	18.4%
40～60%未満	111	40.8%
60～80%未満	71	26.1%
80～100%	14	5.1%
その他	15	5.5%
合計	272	100.0%

問 38 あなた自身の復興

	度数	比率
0～20%未満	28	10.4%
20～40%未満	32	11.9%
40～60%未満	77	28.6%
60～80%未満	71	26.4%
80～100%	39	14.5%
その他	22	8.2%
合計	269	100.0%

問 39 復興の程度 of 理由 A住宅

	度数	比率
10～20%未満	26	10.2%
20～40%未満	17	6.6%
40～60%未満	44	17.2%
60～80%未満	69	27.0%
80～100%	92	35.9%
その他	8	3.1%
合計	256	100.0%

問 39 復興の程度 of 理由 B暮らし向き

	度数	比率
10～20%未満	25	9.5%
20～40%未満	42	15.9%
40～60%未満	67	25.4%
60～80%未満	80	30.3%
80～100%	39	14.8%
その他	11	4.2%
合計	264	100.0%

問 39 復興の程度 of 理由 Cコミュニティ

	度数	比率
10～20%未満	43	16.6%
20～40%未満	35	13.5%
40～60%未満	76	29.3%
60～80%未満	55	21.2%
80～100%	36	13.9%
その他	14	5.4%
合計	259	100.0%

問 39 復興の程度の理由 D 伝統芸能

	度数	比率
10～20%未満	38	14.8%
20～40%未満	31	12.1%
40～60%未満	52	20.2%
60～80%未満	63	24.5%
80～100%	54	21.0%
その他	19	7.4%
合計	257	100.0%

問 39 復興の程度の理由 E 震災へのそなえ

	度数	比率
10～20%未満	42	16.2%
20～40%未満	45	17.4%
40～60%未満	62	23.9%
60～80%未満	57	22.0%
80～100%	41	15.8%
その他	12	4.6%
合計	259	100.0%

問 40 災害時、健康上心配なこと (複数回答可)

	度数	比率
a 持病	161	60.1%
b エコノミー症候群	36	13.4%
c 感染症	65	24.3%
d 足腰	162	60.4%
e 認知症	69	25.7%
f その他	46	17.2%
合計	539	201.1%

問 41 感染症を防ぐために必要と思うこと

A マスク

	度数	比率
家にある・持ち歩いている	233	84.1%
準備したほうがいい	38	13.7%
いらない	7	2.5%
その他	1	0.4%
合計	277	100.0%

B 手の消毒剤

	度数	比率
家にある・持ち歩いている	189	68.0%
準備したほうがいい	67	24.1%
いらない	19	6.8%
その他	3	1.1%
合計	278	100.0%

C 次亜塩素酸消毒剤

	度数	比率
家にある・持ち歩いている	174	65.4%
準備したほうがいい	60	22.6%
いらない	29	10.9%
その他	3	1.1%
合計	266	100.0%

D 使い捨ての手袋

	度数	比率
家にある・持ち歩いている	172	63.0%
準備したほうがいい	68	24.9%
いらない	32	11.7%
その他	1	0.4%
合計	273	100.0%

ご記入 不要	調査員			月		日
	団地名			号棟		番

2019年度 大槌町災害復興公営住宅入居者調査

<ご自身・ご家族のこと、お住まいの場所>

問1 (おそれいりますが継続調査のため) ①お名前、②性別、③おとしを教えてください。

① お名前	②性別	③おとし
		歳

④ ご住所を教えてください。

④ご住所
大槌町

問2 震災前のお住まいの場所について、お尋ねします。

- 大槌町 _____ (町) _____ (丁目・地割)
- 大槌町以外 () 都・道・府・県 () 市・区・町・村

問3 現在、同居している人数は、あなたを含め男女何人ですか。

合計()人 男()人 女()人 ほか()人

問4 現在、同居している方について、お答えください。(あてはまるものすべてに○を)

a 自分	b 夫・妻	c 父・母・義父・義母	d 祖父・祖母
e 子(18歳以上 人、18歳未満 人)	f 孫(18歳以上 人、18歳未満 人)		
g 兄弟・姉妹(人)	h 子の配偶者(嫁・婿)	i めい・おい	
j その他(具体的に: : 人)			

問5 今お暮らしの世帯は、次のどれにあたりますか。

1 高齢世帯(65歳以上のお年寄りのみの世帯である)
2 子ども世帯(12歳以下の <u>子ども</u> のいる世帯である)
3 それ以外の(1, 2以外の)世帯

問6 公営住宅入居後から今までに、同居する家族の変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○を)

a 何も変化なし			
b 転出(引越、転勤、進学)	c 転入	d 逝去	e 出生
f 施設への入所・入院	g その他(具体的に:)		

問7-1 震災後、これまでに住まわれたことのある場所を教えてください。
 (あてはまるものすべてに○を、【 】内の選択肢にも○を、「町外沿岸」は海に面した県内市町村の意味です)

- | | |
|---|--|
| a | 避難所 (具体的に: _____) |
| b | 親戚・知人宅【ア) 町内 イ) 町外沿岸 (県内) ウ) 町外内陸 (県内) エ) 県外】 |
| c | 行政から紹介された宿泊所【ア) 町内 イ) 町外沿岸 (県内) ウ) 町外内陸 (県内) エ) 県外 】 |
| d | 応急仮設住宅【ア) 町内 イ) 町外沿岸 (県内) ウ) 町外内陸 (県内) エ) 県外】 |
| e | みなし仮設住宅【ア) 町内 イ) 町外沿岸 (県内) ウ) 町外内陸 (県内) エ) 県外】 |
| f | その他 (具体的に: _____) |

問7-2 【7-1について】①震災から1ヵ月の間、②仮設住宅に入るまで、③公営住宅入居までの各時期に、どちらで住まわれたかを順に教えてください。

①震災から1ヵ月 (平成23年4月11日まで)	<記入例> ○○避難所で1週間生活をした後、 ○○市△△地区の娘宅に移った。	
②応急仮設住宅もしくはみなし仮設住宅入居前まで	<記入例> 仮設住宅が決まるまで、娘宅で生活した。	(仮設住宅入居年月) 平成 年 月
③復興公営住宅入居前まで	<記入例> ○○仮設に入り、4年間住んだ。	(公営住宅入居年月) 平成 年 月

<公営住宅での生活について>

問8 公営住宅での生活で、気になっている点がありますか。
 (あてはまるものすべてに○を)

- | | | |
|---|---|---|
| a | 気になることはない | |
| b | 暑さ・寒さ対策 (具体的に: _____) |) |
| c | 通風・衛生 (具体的に: _____) |) |
| d | 騒音 (具体的に: _____) |) |
| e | 居住空間の使い勝手(間取り、広さなど) (具体的に: _____) |) |
| f | バリアフリー対応 (具体的に: _____) |) |
| g | 交通の便 (具体的に: _____) |) |
| h | 集会施設など共有空間の使い方 (具体的に: _____) |) |
| i | 防災面での配慮が不十分ではないかという点 (風水害・土砂災害・火災等への対策) |) |
| j | 団地内でのつながりが希薄であること (具体的に: _____) |) |
| k | 親戚・知人と会いにくくなったこと (具体的に: _____) |) |
| l | その他 (具体的に: _____) |) |

問9 お食事について、次にあげる 10 食品群を、週に何日くらい食べていますか。
最近 1 週間のあいだに食べた食事を思い浮かべ、あてはまるもの 1 つに○をつけて下さい (なお、食品とは主菜や副菜であり、フリカケの具材などは含みません)。

10 の食品群	ほとんど毎日	2 日に 1 回	1 週間に 1~2 回	ほとんど飲食しない
(1) 魚介類(生鮮、加工品を問わず、すべての魚介類です。)	1	2	3	4
(2) 肉類(生鮮、加工品を問わず、すべての肉類です。)	1	2	3	4
(3) 卵(鶏卵、うずらなどの卵です。魚の卵は含みません。)	1	2	3	4
(4) 牛乳(コーヒー牛乳、フルーツ牛乳は除きます。)	1	2	3	4
(5) 大豆・大豆製品(豆腐・納豆などの大豆を使った食品です。)	1	2	3	4
(6) 緑黄色野菜(にんじん、ほうれん草、かぼちゃ、トマトなどの色の濃い野菜です。)	1	2	3	4
(7) 海藻類(生・乾燥を問いません。)	1	2	3	4
(8) いも類	1	2	3	4
(9) 果物類(生鮮・缶詰を問いません。トマトは含みません。トマトは緑黄色野菜とします。)	1	2	3	4
(10) 油脂類(油炒め、天ぷら、フライ、パンに塗るバターやマーガリンなど油を使う料理です。)	1	2	3	4

問10 この 1 カ月の間に、尋ねてきた人はいますか。(あてはまるもの すべてに○を)

a 尋ねてきた人はいない	b 家族・親族	c 知人・友人
d 役所の事務的な訪問	e 心身面の相談員	f 生活面の相談員
g ボランティアの人	h 震災前の地区の人	i 避難所で親しくした人
j 仮設住宅で親しくした人	k 今の団地や長屋で親しい人	
l その他(具体的に: _____)		

問11 今あなたが、何か困ったことを相談する相手はどなたですか。上(問10)の選
択肢からあてはまるもの すべてを選んでお書きください。

相談する相手: 問10の b~l の中から (_____)

その人たちと十分、会ったり連絡をとり合えていると思いますか。(1つだけ選んで○を)

1 十分だと思う	2 どちらかといえば十分だと思う	3 どちらかといえば不十分だと思う	4 不十分だと思う	5 相談する相手はいない
----------	------------------	-------------------	-----------	--------------

問12 震災前後から今までに、人と会って話すことについて心境の変化はありましたか。(1～6から1つだけ選んで○を)

震災前	積極的に人と会って話したいと思っていた	→1	震災後	もっと積極的に会って話したいと思うようになった
		→2	震災後	変わらない
		→3	震災後	会って話すのをひかえたいと思うように変わった
震災前	人と会って話すことはできるだけひかえたいと思っていた	→4	震災後	積極的に会って話したいと思うように変わった
		→5	震災後	変わらない
		→6	震災後	会って話すのをさらにひかえたいと思うようになった

問13 あなたはふだん、復興に関する情報は、おもになにから得ていますか。(あてはまるものすべてに○を)

a	一般の新聞(新聞名:)	b	テレビ・ラジオ
c	大槌町内で発行されている地域新聞(新聞名:)		
d	町の広報誌	e	家族
		f	近所の人
		g	友人・知人
h	その他(具体的に:)		

問14 連絡を取り合う方法について、今あなたが使いたいと思うものはなにですか。(あてはまるものすべてに○を)

a	直接会って話す	b	電話	c	手紙	d	電子メール
e	LINE	f	SNS(ツイッターやインスタグラムなど)				
g	ネット掲示板	h	ブログ	i	その他(具体的に:)		

問15 あなたは今、連絡を取り合う環境について不満はありますか(1つだけ選んで○を)。また、それはなぜですか。

1	不満がある	2	少し不満がある	3	あまり不満はない	4	不満はない
	(理由:)						

問16 以下の5つの項目について、最近2週間のあなたの状態に最も近いものに印をつけてください。(数値が高いほど精神的健康状態が高いことを示しています)(AからEの項目について、5・4・3・2・1・0のどれか1つに○を)

5つの項目	いつも	ほとんどいつも	半分以上の期間を	半分以下の期間を	ほんのたまに	まったくない
A 明るく、楽しい気分で過ごした。	5	4	3	2	1	0
B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした。	5	4	3	2	1	0
C 意欲的で、活動的に過ごした。	5	4	3	2	1	0
D ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた。	5	4	3	2	1	0
E 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった。	5	4	3	2	1	0

問 17 被災から9年目の現状について、気持ちの面ではいかがですか。
(1つだけ選んで○を)

- | | | |
|---|-----------------------------|---------------|
| 1 | 被災から時が経過し、気持ちの面では、平穩になりつつある |) |
| 2 | .. | ほとんど変わりが無い |
| 3 | .. | かえってきびしくなっている |
| 4 | その他(具体的に: |) |

問 18 【問 17 で1もしくは3と答えた方へ】被災から現在までで、お気持ちに変化があったきっかけは何でしたか。(あてはまるものすべてに○を)

- | | | |
|---|----------------------------|---|
| a | 家族とのつながりの変化(具体的に: |) |
| b | 友人・知人とのつながりの変化(具体的に: |) |
| c | 地域活動(集会や行事)への参加状況の変化(具体的に: |) |
| d | 体調・健康面の変化(具体的に: |) |
| e | 住まい・住環境の変化(具体的に: |) |
| f | 仕事・職場環境の変化(具体的に: |) |
| g | 家計・暮らし向きの変化(具体的に: |) |
| h | 趣味・生きがいの変化(具体的に: |) |
| i | 人生観の変化(具体的に: |) |
| j | その他(具体的に: |) |

問 19 ここ1ヶ月間、あなたは睡眠で休養が十分とれていますか。
(1つだけ選んで○を)

- | | | | | | | | |
|---|---------|---|-----------|---|-----------|---|------------|
| 1 | 十分とれている | 2 | まあまあとれている | 3 | あまりとれていない | 4 | まったくとれていない |
|---|---------|---|-----------|---|-----------|---|------------|

★1 家族生活や公営住宅でのことについて、自由にお書きください。

--

<お仕事、収入、暮らし向きについて>

問 20 現在、生活費はどうしていますか。

(1つだけ選んで○を。複数ある方は最も収入の多いものを)

- | | | | | | |
|---|---|---|---------|---|-------------|
| 1 | 自営業による収入 | 2 | 給与による収入 | 3 | 生活保護費 |
| 4 | 年金(イ 国民 口 厚生 ハ 共済 ニ 農業者 ホ 漁業者 ヘ 遺族 ト 障害者) | | | | |
| 5 | 失業給付 | 6 | 預金の切り崩し | 7 | 家族による世話・ふよう |
| 8 | その他(具体的に: | | | |) |

問 21 【さしつかえなければ】現在の世帯の収入は、ひと月の手取りで、どれくらいですか。

- | | | | | | | | |
|---|-----------|---|-----------|---|-----------|---|-----------|
| 1 | ない | 2 | 5万円未満 | 3 | 5~10万円未満 | 4 | 10~15万円未満 |
| 5 | 15~20万円未満 | 6 | 20~25万円未満 | 7 | 25~30万円未満 | | |
| 8 | 30万円以上 | 9 | その他(具体的に: | | | |) |

問 22 <被災前の>暮らし向きについていかがでしたか。(1つだけ選んで○を)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 被災前きびしかった | 2 被災前きびしくなかった |
| 3 その他(具体的に: |) |

問 23 <被災後の>暮らし向きの変化についていかがですか。(1つだけ選んで○を)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 被災後きびしい | 2 被災後きびしくない |
| 3 その他(具体的に: |) |

問 24-1 現在、仕事について、どのような立場ですか。

(1つだけ選んで○を。複数ある方は最も収入の多いものに○を)

- | |
|---|
| 1 働いていない(イ 求職中 □ 諸事情により ハ 希望する職がない) |
| 2 公務員 3 内職 4 専業主婦 5 自営業の手伝い |
| 6 農林漁業(イ 農業 □ 林業 ハ 養殖漁業 ニ 漁船漁業) |
| 7 個人で商店・工場・アパート経営など自営業を営んでいる
(具体的に:) |
| 8 雇われて給与を得ている(具体的に:)
(イ 正社員 □ 臨時・日雇 ハ パート ニ 嘱託社員 ホ 契約・派遣社員) |
| 9 会社役員(具体的に:) |
| 10 その他(具体的に:) |

問 24-2 【24-1 について】震災前の仕事から変化はありましたか。

- | |
|----------------------------------|
| 1 変化なし |
| 2 変化あり(震災前の仕事を 24-1 から選んでください:) |

問 25 【借金・ローンなどがあった方へ】借金、ローン問題などは解決しましたか。

- | | | | |
|----------------|---------------|--------|----------|
| 1 この問題はない | 2 解決した | 3 改善した | 4 変わらない※ |
| 5 深刻になった※ | 6 その他(具体的に:) | | |
| ※(なにが未解決ですか:) | | | |

★2 お仕事や暮らしの現状について、自由にお書きください。

--

<地域活動や生きがいについて>

問 26 あなたは現在、次のような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○を)

- | | |
|---------------------------------|---|
| a とくにない | |
| b 友達と会う、連絡をとる(具体的に:) |) |
| c サークル活動・勉強会などに参加(具体的に:) |) |
| d 団地や周辺町内会でのイベントなどに参加(具体的に:) |) |
| e 町の復興協議会・まちづくり懇談会などに参加(具体的に:) |) |
| f その他(具体的に:) |) |

問 27-1 あなたが現在、楽しい・幸せだと感じるのはどんな時ですか。

(あてはまるものすべてに○を)

a 家族の団らん	b 知人・友人と会っている時	c 町内会・公営住宅団地の集まり
d テレビを観たり、ラジオを聞いている時	e インターネットやメールをする時	
f 趣味に取り組んでいる時 (具体的に: _____)		
g 買い物に出かける時	h 飲食をしている時	
i 働いている時	j 休んでいる時	
k その他 (具体的に: _____)	l 特になし	

問 27-2 【27-1 について】 震災前と比べて、変化はありましたか。

a 変化なし
b 変化あり (震災前に楽しい・幸せだと感じていたものを 27-1 からすべて選んでください: _____)

問 28 あなたはふだんの生活でのさまざまな場面で、次のことについてどのように感じていますか。もっともあてはまる番号を選んでください。

(A、B、Cそれぞれの項目について、3、2、1のどれか1つに○を)

	ほとんどない	たまにある	よくある
A 自分に仲間付き合いがないと感じることがありますか	3	2	1
B 仲間外れにされていると感じることがありますか	3	2	1
C 他の人から孤立していると感じることがありますか	3	2	1

問 29 あなたは、「買い物」にどのような交通手段を利用していますか。

(あてはまるものすべてに○を)

a 自分で買い物はしない	b 徒歩	c 自転車
d バイク	e 自分が運転する車	f 家族が運転する車
g 知人の運転する車	h タクシー	i バス
j 移動販売	k 宅配サービス	
l その他 (具体的に: _____)		

問 30 あなたは大槌町の公共交通機関について満足していますか。

1 満足している	2 どちらかという満足している
3 どちらかという不満である	4 不満である
5 その他 (具体的に: _____)	

★ 3 地域での活動や生きがいのことについて、自由にお書きください。

--

<生活の復興と復興のまちづくり>

問 31 あなたにとって大槌町は住みやすいですか？（1つだけ選んで○を）

- 1 住みやすい 2 ある程度住みやすい 3 あまり住みやしくない 4 住みにくい

問 32 住みやすさの理由として、今のあなたの暮らしを考えたとき、次のことについてどのように感じますか。最も近いものに印をつけてください。（A～Fそれぞれの項目について、4・3・2・1のどれか1つに○を）。

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
A 子育て環境が整っている	4	3	2	1
B 介護環境が整っている	4	3	2	1
C 学習環境が整っている	4	3	2	1
D 地域の交流が盛んだ	4	3	2	1
E 住み慣れた町だ	4	3	2	1
F あまり生活費がかからない	4	3	2	1

問 33 今、あなたもしくは同居のご家族が、子育て支援、介護支援、学習支援を受けていたら、その内容を教えてください。

（例 介護支援：デイサービスに週2日通っている）

- | | |
|-----------------|---|
| a 子育て支援（具体的な内容： | ） |
| b 介護支援（具体的な内容： | ） |
| c 学習支援（具体的な内容： | ） |

問 34 今後のお住いについて、どのような見通しを立てていますか。

（あてはまるもの1つに○を）

- | | |
|----------------------------|---|
| 1 できるだけ公営住宅にいたい | |
| 2 自分の家を建てる・購入する（いつごろどこに： | ） |
| 3 自宅を再建したいが、災害復興公営住宅にいる | |
| 4 民間の借家に入る（いつごろどこに： | ） |
| 5 息子など他の家族と一緒に暮らす（いつごろどこへ： | ） |
| 6 その他（具体的に： | ） |

問 35 あなたの暮らしのために、以下に掲げた支援策の中で、実施してほしいものを選んでください。（あてはまるものすべてに○を）

- | | |
|------------------------------|---|
| a 生活再建支援金を増やしてほしい | |
| b 医療費・介護にかかわる経費・負担を軽減してほしい | |
| c 就学・育児にかかる費用を援助してほしい | |
| d 一家を養える給料がほしい | |
| e 安定した仕事を紹介してほしい | |
| f 週に2，3日程度働ける仕事を紹介してほしい | |
| g 高齢者でも障がいがあっても働ける仕事を紹介してほしい | |
| h 心おだやかに暮らせる環境づくり | |
| i その他（具体的に： | ） |

問 36 震災復興のまちづくりについて、住民・事業者として、どのようなことにかかわっていきたいですか。(あてはまるものすべてに○を)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| a 地域における交流の活性化 | b まつり・伝統行事など地域文化の復興 |
| c 自然環境・生物生態系の保全 | d 犠牲となった方がたの鎮魂・慰霊 |
| e 防災の文化を受け継ぐ | f その他(具体的に: |

問 37 町の復興については、あなたはどの程度復興しているとお考えですか。

- | | | | |
|-----------|---------------|------------|------------|
| 1 0~20%未満 | 2 20~40%未満 | 3 40~60%未満 | 4 60~80%未満 |
| 5 80~100% | 6 その他(具体的に:) | | |

問 38 あなた自身の復興については、あなたはどの程度復興しているとお考えですか。

- | | | | |
|-----------|---------------|------------|------------|
| 1 0~20%未満 | 2 20~40%未満 | 3 40~60%未満 | 4 60~80%未満 |
| 5 80~100% | 6 その他(具体的に:) | | |

問 39 以下の項目について、あなた自身の復興は、どの程度進んでいますか。

	10~ 20%未満	20~40% 未満	40~ 60%未満	60~ 80%未満	80~ 100%	その他 (具体的に)
住宅の復興	5	4	3	2	1	
暮らし向きの復興	5	4	3	2	1	
コミュニティ (地域活動)の復興	5	4	3	2	1	
祭りなど伝統 芸能の復興	5	4	3	2	1	
新たな震災へのそなえ	5	4	3	2	1	

問 40 防災に関してうかがいます。これからの災害時のご自分やご家族の健康について、心配なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○を)

- | |
|---|
| a 持病の悪化(高血圧・糖尿病・喘息など) |
| b エコノミー症候群(血の塊で、血管が詰まって起こる病気、肺の血管が詰まる肺塞栓など) |
| c 感染症にかかること(かぜ・インフルエンザ・ノロウイルスなど) |
| d 足腰が弱ること(歩けなくなったりすること) |
| e 認知症が進むこと |
| f その他(具体的に:) |

問 41 感染症を防ぐため、次のものはそれぞれどの程度必要だと思いますか。

	家にある・ 持ち歩いている	準備した方が 良い	いない	その他 (具体的に)
A マスク	1	2	3	
B 手の消毒剤	1	2	3	
C 次亜塩素酸消毒剤 (ハイター・ミルトンなど)	1	2	3	
D 使い捨ての手袋	1	2	3	
E ビニール袋	1	2	3	
その他必要と思うもの				

問 42-1 大槌町への愛着は強いほうですか、弱いほうですか。

1 強い 2 やや強い 3 やや弱い 4 弱い

問 42-2 どのような点で愛着が強いと感じますか、または弱いと感じますか。

★ 4 生活の復興と復興のまちづくりについて、自由にお書きください。

★ 5 被災から9年目のいま、どのようなことを思いますか。いまのお気持ちをお聞かせください。また、本調査に関して、ご意見などございましたらお聞かせください。

<ご回答いただきありがとうございました。今後とも、どうかよろしくお願ひします。>

岩手大学 麦倉哲 (連絡先省略)

明治学院大学 浅川達人 (連絡先省略)

専修大学 野坂真 (連絡先省略)

<よろしかったら、ご自由にお書きください。>

<メモ欄>

令和元年7月4日

様

「大槌町災害復興公営住宅入居者調査」
実施へのご理解とご協力をお願い

暑気厳しき折柄、ますますご多忙のことと拝察申し上げます。さて、不躰なお願いとなり恐縮ですが、このたび岩手大学社会学研究室麦倉研究室、明治学院大学社会学部浅川研究室、専修大学社会学科社会調査実習野坂班の合同により、災害復興公営住宅入居者の皆様を対象とした調査を実施することとなり、ご理解とご協力をお願いを申し上げます。

調査実施責任者らは、平成28年12月に災害復興公営住宅入居者調査を実施しました。今年は、ほぼすべての災害復興公営住宅が建ちましたことを受け、大槌町の全災害復興公営住宅にお住まいの皆様に再度現状をお聞きし、これからも予想される町内外の災害への備えやこれからの地域の復興のために、ご経験や思いを活かさせていただきたいと考えております。

おたずねする内容は、現在のお暮らし、地域でのつながり、地域や行政に要望したいこと、大槌町への愛着などです。

そこで、お手数をおかけいたしまして恐縮ですが、添付の「調査へのご協力のお願い」を、地域内の回覧板や掲示板、地域での集まりにて、周知していただきましたら幸いです。調査は、すべて下記大学教員の責任で実施いたしますが、結果がまとまりましたら、住民の方向けの説明会を実施するとともに、結果を大槌町コミュニティ総合支援室、大槌町社会福祉協議会にご報告申し上げます。

記

- 調査名 「大槌町災害復興公営住宅入居者調査」
- 調査対象 大槌町内の全災害復興公営住宅入居者で15歳以上の方(高校生以上)
- 調査方法 質問紙を用いた個別面接法、留置法、留置郵送回収法の併用
- 調査実施日時 2019年8月8日から11日
- 郵送回収期間 2019年9月15日

以上

大槌町災害復興公営住宅調査実施責任者（共同）

岩手大学教育学部 教授 麦倉 哲（むぎくら てつ）

連絡先（省略）

《調査実施共同責任者》

明治学院大学社会学部 教授 浅川達人（あさかわ たつと）

専修大学人間科学部 兼任講師 野坂 真（のざか しん）

令和元年7月

大槌町災害復興公営住宅入居者のみなさまへ

調査へのご協力をお願い



暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

岩手大学、明治学院大学、専修大学では、大槌町内の復興公営住宅にお住まいの皆さんのこれまでのあゆみと現状から学び、これからも予想される災害に向けて、活かしてゆきたいと考え、今年度も皆さまのご意見をお聞かせいただきたいと思います。と思っています。

以下の日程で、教員と学生らが、お家におうかがいたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

おうかがいする期間

8月8日（木）から11日（日）まで

おたずねする内容は、いまの生活、地域でのつながり、行政や地域に要望したいことなどで、30分から1時間くらいお話をうかがうものです。お伺いした際にご都合のつかない方には、返信用の封筒をお渡ししますので、お時間のあるときをお願いいたします。

訪問の際、H28年冬に実施した災害復興公営住宅での調査結果を、お礼としてお持ちします。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査へのご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

岩手大学教育学部 教授 麦倉 哲（むぎくら てつ）

連絡先（省略） TEL（省略）

《調査実施共同責任者》

明治学院大学社会学部 教授 浅川達人（あさかわ たつと）

専修大学人間科学部 兼任講師 野坂 真（のざか しん）

◎このお願い文は、〈大槌町社会福祉協議会の方、各公営住宅団地自治会の方、地元の調査実施賛同者の方〉からもご協力いただき配付しております。

2019年（令和元年）8月8～11日

＜大槌町復興公営住宅・仮設住宅＞入居者のみなさまへ

復興公営住宅・仮設住宅調査のお願い

これまで私どもの「調査」にご協力下さり、誠にありがとうございました。本年は「復興公営住宅」と「仮設住宅」に入居する「15歳以上のみなさま」にお願いをしています。みなさまの声をおきかせくださいますよう、どうかよろしくお願ひいたします。

調査票に回答をご記入のうえ、
返信用封筒に入れ、ポストに投函して
下さい。



ご多忙中のところ誠に恐縮ですが、2019年（令和元年）9月15日くらいまでに投函して下さい（切手を貼る必要はありません）。どうかよろしくお願ひ致します。なお、調査結果につきましては、町内で報告会を開催いたします。

本調査研究プロジェクト代表
岩手大学教育学部教授・地域防災研究センター
麦倉 哲（むぎくらてつ）

■連絡先（省略）

《調査実施共同責任者》

明治学院大学社会学部 教授 浅川達人（あさかわ たつと）
専修大学人間科学部 兼任講師 野坂 真（のざか しん）

8月 日 の 時 ころうかがいました。
調査員氏名（ ）

本事業は「読売光と愛の事業団」より助成を受けております。

報告書執筆者・調査員等一覧

■調査設計・報告書執筆（執筆順）

まえがき、調査の概要、第1章、報告書編集・校正

野坂 真（早稲田大学文学学術院非常勤講師/専修大学人間科学部兼任講師）

第2章、第3章、第5章、第6章、あとがき

麦倉 哲（岩手大学教育学部教授）

第4章、あとがき

浅川 達人（早稲田大学人間科学学術院教授）

第7章

福田 祐子（岩手大学大学院総合科学研究科）

付録

専修大学人間科学部社会学科野坂ゼミ（2019年度開講分）

■調査員一覧（記して感謝申し上げます）

氏名	所属	氏名	所属
麦倉 哲	岩手大学 教授	古口 瑛	専修大学 学生
浦野 正樹	早稲田大学 教授	根岸 夏那	専修大学 学生
浅川 達人	明治学院大学 教授	小玉 愛莉	専修大学 学生
梶原 昌五	岩手大学 教授	安斎 柊	専修大学 学生
菊地 洋	岩手大学 准教授	笥田 有悠	専修大学 学生
野坂 真	専修大学 兼任講師	波田 理奈	専修大学 学生
金子 昌富	専修大学 大学院 D	小平 涼香	専修大学 学生
福田 祐子	岩手大学 大学院 M/ 岩手県立胆沢病院	森 夏月	専修大学 学生
楊 大千	岩手大学 大学院 M	春田 起也	専修大学 学生
柳沢 大貴	岩手大学 学生	泉 颯人	専修大学 学生
久保田 隼佑	岩手大学 学生	水上 翔貴	専修大学 学生
石上 大	岩手大学 学生	佐藤 龍一郎	専修大学 学生
根本 史也	岩手大学 学生	加部 瑞季	明治学院大学 学生
北村 竜二	岩手大学 学生	田村 順子	明治学院大学 学生
藤村 貴子	岩手大学 学生	外岡 菜々子	明治学院大学 学生
倉堀 康	大槌町住民	中村 優太	明治学院大学 学生
		亀卦川 航希	明治学院大学 学生
		吉澤 春奈	明治学院大学 学生

《2019年度》

大槌町災害復興公営住宅入居者調査
調査結果報告書

2021年 2月 13日

発行責任者 麦倉哲・野坂真・浅川達人

連絡先

〒020-8550

岩手県盛岡市上田 3-18-33
岩手大学教育学部社会学研究室